

2020年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I	2020 年度 施策の成果	1
	1. 事業の期間	1
	2. 施策の成果	1
II	2020 年度 事業実績	2
	1. 法人本部 実績	2
	(1)財務の視点～経営管理、財務管理	2
	(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	2
	(3)業務改善の視点～リスクマネジメント	2
	(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理	2
	(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	3
	1.理事会の開催	3
	2.評議員会の開催	4
	3.監事監査の実施	4
	(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)	5
	(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)	5
	(8)避難訓練	6
	(9)法人研修	7
	(10)法人行事関連	8
	(11)職員厚生会	8
	(12)経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績	8
	1. 会計監査	8
	2. 人事考課表改定	9
	3. 職員研修	9
	4. 預り金監査	9
	(13)地域貢献事業(取り組み状況)	9
	(14)設備の改善状況	10
	2. 各事業所実績	11

【札幌報恩学園 概要】	11
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	21
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	28
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	32
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	37
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	42
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	46
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	49
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション106 概要】	53
相談支援	
【就業・生活相談室しんさつぽろ 概要】	55
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	59
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	66
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 2020 年度 施策の成果

1. 事業の期間

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日

2. 施策の成果

(1) 法人経営統括

年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響で日常の事業実施について、入所系では面会や帰省の中止、後半タブレットを使ったの面談と保護者関係者の皆様には大きな協力をしていただいた。通所系では一部閉鎖や縮小をせざるを得ない状況が続いた。まったく経験したことのない状況となり、道や札幌市、福祉協会からの通知等を参考に法人内での情報共有を行い、対応策を日々検討して事業を進めていった。またサービス管理部門においては、外部研修、行事、地域貢献事業は不参加、自粛が続いた一年であった。

社会福祉法人には、より透明で公正な運営のほか、サービス及び職員の質の向上が求められている。計画的で適正かつ堅実な事業運営により健全な財政運営を展開してきたが、今年度は手当の増額、新型コロナ感染症対策の影響があり、次期繰越活動増減差額は前年度に比べ 2112 万円のマイナスとなった。サービス活動増減差額においては、4900 万円のマイナスで、拠点単位で見ると財政運営が厳しいところが増えてきており、今後の継続的な負担が見込まれることから、更なるコスト削減を意識しつつ堅実な財政運営を進める必要がある。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策に利用者、職員の健康を考え法人一丸となり取り組みを行った。対策等の通知が大量に発出され、指示に従いながらも対応を行い現在も継続している。対策委員会も30回ほど開催し、会議も様々な実施方法を工夫し、オンラインシステムの web 会議には「zoom」を取り入れて実施した。

(3) 第 4 次中期経営計画 2 年目

中期経営計画の機能別 4 分野について、2020 年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2020 年事業報告 参照

Ⅱ. 2020 年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催、理事長、業務執行理事の業務執行状況報告を理事会ごとに報告を行った。
- ・年 2 回の環境整備委員会を予定したが後期は中止した。
- ・会計監査人による監査を実施。実務的な指摘事項が減ってきている。財務分析は月次会議を中心に報告しているが、収支構造に低迷している事業があり事業継続における見直しなど検討が必要に迫られている。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)は緊急性のあるもの、特にグリーンホーム厚別のボイラー交換の入札を実施した。購入では新型コロナウイルス感染症対策備品が中心であった。
- ・預り金監査は外部に委託。年々指摘事項が減少している。

(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・新型コロナウイルス感染症対策により後援会活動、町内会活動等は自粛、不参加がほとんどであった。café スミレは年間を通して自粛し、café ラベンダーの運営は利用者様を中心に営業を行った。

(3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・法人合同の災害訓練を継続実施。毎年想定災害を変えて行っている。
- ・大型倉庫建築の使用方法与備品関連を検討し、3月31日完成。
- ・ホームページの見直しで委員会を設置し内容変更を随時行い、タイムリーな情報を提供できた。
- ・オンラインシステムを構築し web 会議「zoom」関連環境を整理した。

(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・学校関連に毎月採用試験の案内を出し、業者を使い広範囲に募集案内を出して少しずつ内定者が決まり、年度末には欠員なくスタートができた。手当の一部賃金増額改正を実施したこと、ホームページの見直しを随時行い、求職者に対して当法人の魅力ある施策をPRしたことなど影響もあったと思われる。
- ・資格取得制度を利用した職員は 12 名、かなり浸透してきた。
- ・人事考課の評価項目を一部改正し、新年度に運用する。

(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2020年 2月29日(土)	報告第1号 第3四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 2019年度建設等実行委員会からの報告について 議案第1号 2019年度第一次補正予算(案)について 議案第2号 処遇改善加算手当及び期末賞与の支給について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 運営規定の一部改正について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
第2回	2020年 3月28日(土)	議案第1号 2019年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 2020年度 事業計画(案)について 議案第3号 2020年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2020年度地域における公益的な取組み企画(案)について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 運営規定の一部改正について 議案第7号 2020年度建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第8号 コンサル業者の2019年度業務報告と2020年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2020年 6月11日(木)	報告第1号 第4四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査(書面監査)の結果について 報告第4号 2020年度 第1回環境整備委員会からの報告について 議案第1号 2019年度 事業報告の承認について 議案第2号 2019年度 決算に係わる計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 2019年度 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第4号 法人規程の一部改正について 議案第5号 定時評議員会の招集事項決定について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
第4回	2020年 9月4日(木)	報告第1号 第1四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 2020年度 建設事業等実行委員会に係る理事長専決事項について 議案第1号 2020年度 法人規程の一部改正について 議案第2号 2020年度 事業所運営規定の一部改正について	承認 承認 承認 可決 可決
第5回	2020年 12月4日(金)	報告第1号 第2四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 第2回建設事業等実行委員会からの報告について 報告第4号 固定資産の取得及び除却について 議案第1号 法人規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 可決
第1回	2021年 1月20日(水) 理事会決議の	議案第1号 「グリーンホーム厚別 ボイラー更新工事の件について、 予算変更と入札承認の件」	可決

	省略		
第2回	2021年 2月29日(土)	報告第1号 第3四半期監事監査結果報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 2020年度 建設事業等実行委員会からの報告について 議案第1号 各事業所運営規程一部改正について 議案第2号 2020年度 第一次補正予算(案)及び固定資産除却について 議案第3号 処遇改善加算手当及び期末賞与の支給について 議案第4号 法人規程の一部改正について 議案第5号 2021年度 法人管理職の人事異動及び任命について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2021年 3月28日(土)	議案第1号 事業所運営規程一部改正について 議案第2号 エアコン設置工事の年度変更と入札の承認について 議案第3号 2021年度 事業計画(案)について 議案第4号 2021年度各拠点区分当初予算(案)について 議案第5号 積立資産取崩について 議案第6号 2021年度建設事業等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第7号 コンサル業者の2020年度業務報告と2021年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2020年 6月26日(金)	報告第1号 2019年度決算に係る監事監査結果及び会計監査報告について 報告第2号 2020年度事業計画及び各拠点区分当初予算について 議案第1号 2019年度事業報告の承認について 議案第2号 2019年度決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 2019年度社会福祉充実残額の算定結果について	承認 承認 可決 可決 可決

3. 監事監査の実施

第1回	2020年8月19日(水) (4月から6月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認
第2回	2020年11月25日(水) (4月から9月分)	3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認
第3回	2021年2月18日(木) (4月~12月分)	5 法人運営関係確認 6 決算作業(第4回)
第4回	2021年6月2日(水) (決算)	

(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査内容	備考
・2020.8月 20 日～ 8月21日	* 内部統制の整備状況の確認 * 期中取引の検証 ・収入計上プロセス確認 ・役員会、建設等実行委員会関連 資料確認 ・規程関係確認	
・2020.10月28日～ 10月29日	* 内部統制の整備状況② * 期中取引の検証 ・調査対象部門の担当者へのヒア リング	
・2021.3月22日～ 3月24日	* 内部統制の運用状況の評価 * 期中取引の検証 ・寄付金プロセス確認 ・人件費計上プロセス確認 ・経費プロセス確認 ・各事業所事業収益確認 ・固定資産確認	12 月:「会計監査人の 職務に関する監事への 報告」あり
・2021.4 月 7 日	* 実査・確認手続き ・小口現金等実査	
・2021. 5月19日～ 5月21日	* 期末監査	

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

<令和2年度新人採用の件>

- ・5/30 採用試験実施 3 名受験 3 名合格(支援:男性 1 名、女性 2 名)
 - ・6/27 採用試験実施 3 名受験 3 名合格(支援:男性 1 名、女性 2 名)
※うち女性 1 名辞退
 - ・7/31 採用試験実施 0 名(受験予定者 1 名欠席)
 - ・8/22 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:女性 1 名)
 - ・9/26 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:男性 1 名)
 - ・10/26 採用試験実施 2 名受験 2 名合格(支援:男性 1 名、女性 1 名)
※うち男性 1 名辞退
 - ・11/18 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:女性 1 名)
 - ・11/28 採用試験実施 4 名受験 4 名合格(支援:男性 2 名、女性 2 名)
※うち女性 2 名辞退
 - ・12/19 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:1 名、女性 1 名)
 - ・3/18 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:男性 1 名)
- 合計 13 名(支援員:男性 6 名、女性 7 名)

<入職>

(新任)

- ・4月：正職員：13名(報恩8名、グリーン2名、ワーク1名、まごころ2名)、
臨職：2名(学園1名、グリーン1名)、パート3名(ワーク1名、
くるみ1名、幌西1名)

(中途)

- ・5月：正職員 4名(報恩3名、グリーン1名)
- ・6月：正職員 2名(報恩1名、そよ風1名)
- ・7月：正職員 4名(報恩2名、グリーン1名、ワーク1名)、パート 2名(くるみ2)
- ・8月：正職員 2名(報恩2名)
- ・9月：正職員 1名(報恩1名)、パート 1名(まごころ)
- ・10月：パート 1名(まごころ)
- ・11月：正職員 1名(報恩1名)
- ・12月：臨職 1名(報恩1名)、パート1名(くるみ)
- ・1月：パート1名(くるみ1名)
- ・2月：正職員 1名(報恩1名)、パート 1名(くるみ)
- ・3月：正職員 3名(報恩3名)、臨職 1名(ステーション106)、パート 4名(のぞみ1
名、くるみ1名、報恩1名、そよ風1名)

(正職員 31名、臨職 4名、パート 14名)

(退職)

- ・4月：正職員 2名(報恩2名)
- ・5月：正職員 2名(報恩1名、ワーク1名)、パート 1名(くるみ)
- ・6月：正職員 2名(報恩1名、まごころ1名)、パート 1名(くるみ)
- ・7月：パート 1名(くるみ)
- ・8月：正職員 1名(報恩1名)
- ・9月：正職員 3名(報恩1名、そよ風1名、まごころ1名)、
臨職 1名(報恩1名)、パート 2名(くるみ)
- ・10月：正職員 2名(報恩2名)、臨職 1名(報恩)
- ・11月：正職員 1名(報恩1名)
- ・12月：パート 5名(幌西1名、くるみ3名、まごころ1名)
- ・1月：臨職1名(報恩1名)、パート2名(ワーク1名、くるみ1名)
- ・2月：パート2名(ワーク1名、くるみ1名)
- ・3月：正職員 9名、パート 3名(報恩2名、そよ風1名)

(正職員 22名、臨職 3名、パート 17名)

(8)避難訓練(時間は開始の時間)

①札幌報恩学園

- ・7/21 10時30分 夜間想定訓練 実施
- ・9/2 10時 防災訓練 実施
- ・3/10 10時 実施

②グリーンホーム厚別・そよ風

- ・7/8 13時 実施
- ・11/5 14時 夜間想定訓練 実施(グリーンホーム厚別)
- ・11/5 14時 実施(そよ風)
- ・3/19 10時 実施

③ワークショップ上野幌

- ・11/11 11時 実施
- ・3/12 11時 実施

④のぞみ寮

- ・6/12 13時 実施(火災)
- ・8/16 15時 実施(地震の想定)
- ・10/21 20時 実施(夜間想定火災)

⑤くるみ寮

- ・5/11、5/12、5/15、5/31、6/5、8/4、8/10、8/12、8/17、8/21、
8/28、10/9、10/16、10/18、10/24、10/26、2/2、2/3、2/6、2/7、2/9
2/14 各ホーム、サテライトにて実施

⑥ホープス

- ・5/27 10時30分 実施
- ・7/29 11時 実施
- ・11/13 10時30分 実施
- ・3/13 10時 実施

⑦幌西ほうおん

- ・5/14 10時30分 実施
- ・7/7 10時30分 実施
- ・1/15 10時30分 実施

⑧まごころ保育園

- ・4/15(地震)・5/14(不審者)・6/10(火災)・7/8(地震)
- ・8/5(不審者)・9/2(地震)・10/7(火災)・11/4(不審者)・12/2(火災)・1/13(地震)、
2/10(火災)、3/10(不審者)

毎月1回 火災・地震・不審者対応 順次実施

※法人全体防災避難訓練(大型地震 9/2)

(9)法人研修

※新型コロナウイルス感染予防の為、開催自粛(8月よりオンラインにて実施)

- ・ 8/ 6 個別支援計画書新様式変更研修 (参加者 34名)
- ・ 9/15 メンタルヘルス研修 (参加者 30名)
- ・10/ 2 アンガーマネジメント研修 (参加者 23名)
- ・11/ 7 4法人個別支援計画作成研修 (参加者 11名)
- ・11/10 メンタルヘルス研修2 (参加者 44名)
- ・11/27 アンガーマネジメント研修 (参加者 25名)
- ・12/ 8 差別解消法に基づく合理的配慮について (参加者 74名)
- ・2/22 コロナ派遣報告会
- ・2/25 触法研修
- ・2/26 虐待防止研修(参加者 34名)
- ・3/25～3/30 新任職員研修(参加 13名)

(10)法人行事 関連

① 運動会

- ・ 実施日:2020年6月21日 新型コロナウイルス感染症予防の為、中止

② 報恩まつり

- ・ 実施日:2020年9月22日
会 場:交流ホームひまわり周辺等
内 容:法人内部の利用者のみの小規模開催

③ 創立記念日

- ・ 実施日:2020年11月30日
会 場:各事業所にて
内 容:利用者少人数による開催

④ 成人のお祝い会

- ・ 実施日:2021年1月12日(幌西)、13日(ホープス、ワーク、そよ風、のぞみ寮)
会 場:新型コロナウイルス感染症予防の為、各関係事業所にて開催
対象者:ホープス1名、ワーク;1名、そよ風;1名、のぞみ寮;4名、
幌西ほうおん;4名 合計11名(男性6名、女性5名)
内 容:各事業所にて小規模に開催(写真撮影、記念品贈呈等)

⑤ 参観日

- ・ 実施日:2021年5月16日 新型コロナウイルス感染症予防の為、中止

(11)職員厚生会 関連(2019.2.29 現在、会員数;262名)

①厚生会係りによる行事は、新型コロナ感染症の為、全て中止

②慶弔金搬出事業

・ 餞別 28件、香典等 13件、見舞金 11件、お祝い金 20件

③会議(第1回;2020.4、第2回:2021.2、第3回:2021.3)

(12)経営コンサルタント実績

*2020年度 契約業者:株式会社吉岡経営センター

1. 会計監査(計12回)実施

(1)決算業務指導

①就労支援事業の損益修正事項アドバイス

②固定資産管理アドバイス

(2)会計指導

①減価償却、固定資産処分に関する仕訳処理

②消費税申告業務支援

③内部取引消去に関する処理確認

④資本的支出と修繕費に関する会計処理

⑤積立金の適正額に関するアドバイス

2. 人事考課表改定

コンピテンシーディクショナリーにもとづき、評価項目の文言見直し。

(1)課長職、係長職から、評価内容の見直し案についてアンケート調査

(2)アンケート集計にもとづき、貴法人・常勤役員と検討会

(3)評価ウェイト修正

(4)新人事考課表トライアル

(5)評価基準4段階から5段階に修正

(6)人事考課者研修で、新人事考課表を説明

3. 職員研修

(1)幹部職研修

①人事考課者研修 2021年2月18日実施

②退職金制度・処遇改善加算 2021年3月4日実施

(2)新人研修

①ビジネスマナー、接遇、就業規則 2021年3月30日実施

4. 預り金監査

2020年10月13日実施

預り金監査の結果は、別途報告書。

(13)地域貢献事業(取り組み状況)

1. 地域における公益的な取り組み事業

※新型コロナウイルス感染症予防の為、開催自粛中

2. 地域との関連

※新型コロナウイルス感染症予防の為、中止及び不参加

3. ボランティアの受け入れ

・補修～コロナの関係で現在町内会のボランティアは中止となっている

・園芸 グリーンホーム厚別 各2名(6月:1回、7月4回、8月:3回
9月:2回、3月3回)

・園庭草取り まごころ保育園 1名

4. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

・札幌報恩学園 8名

・グリーンホーム厚別 4名

・まごころ保育園 0名

・ワークショップ上野幌 1名

・ホープス 0名

5. カフェの来店者数

・カフェ すみれ(幌西ほうおん)

来客数:4月～7月 0名
 来客数:8月～10月 0名
 来客数:11月～1月 0名、2月～3月 0名

・カフェ ラベンダー

来客数：4月 234名、5月 301名、6月 362名、7月 259名
 8月 279名、9月 302名、10月 364名、11月 249名
 12月 217名、1月 222名、2月 222名、3月 241名

合計 2,789 名

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金額
本部	除雪業務	990
	ストレスチェック検査料金	345
札幌報恩学園	居室修理	3,209
	家電交換	358
	パソコン関連	596
	トイレ改修工事	1,361
	車両購入	6,327
	厨房内修理	1,726
	体温検知カメラ	383
グリーンホーム厚別	家電交換	415
	パソコン関連	428
	エアコン(厨房)修理	2,970
	ベット関連	594
	空気清浄機	310
	体温検知カメラ	313
ワークショップ上野幌	パソコン関連	214
	体温検知カメラ	288
くるみ寮	パソコン関連	763
	体温検知カメラ	299
のぞみ寮	パソコン関連	214
	体温検知カメラ	299
ホープス	体温検知カメラ	299
まごころ保育園	遊具	176
	パソコン関連	381
	体温検知カメラ	299
しんさっぽろ	体温検知カメラ	190
幌西ほうおん	体温検知カメラ	288
計		24,035

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施しました。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染対策の観点からやむを得ず受け入れを制限いたしました。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

① 知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数 146名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,158名 (146名×365日×0.96)
受け入れ実績	51,492名

② 知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名 (生活介護契約者数 146名)
受け入れ目標(年間延べ)	38,489名 (146名×269日×0.98)
受け入れ実績	38,084名

③ 知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠 定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	1,080名
受け入れ実績	122名

④ 日中一時支援事業の受け入れ

受け入れ枠 定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	30名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,158 名の目標に対して、実数 51,492 名であり達成であった。生活介護においては、目標 38, 489 名に対し、実数 38, 084 名となり若干ではあるが未達成だった。短期入所事業においては新型コロナウイルス感染対策の影響で受け入れを制限したため、実数 122 名の利用、日中一時支援においても実数 0 名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2019 年度から本年度への繰越人員	98	48	146
本年度中の入所者数	2	3	5
本年度中の利用者総数	100	51	151
本年度中の退所者数	3	2	5
差引本年度から令和 3 年度への繰越人員	97	49	146
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	860	427	1,287

②月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	146	146	146	146	146	147	147	146	146	146	146	148	1,756
月平均 施設入所	141.8	142.5	142.5	141.1	140.9	141.6	139.9	139.8	140.7	140.3	141.0	141.0	141.1
入所	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	5
退所	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	5

③本年度入所利用者数調べ

男	女	計
2 人	3 人	5 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	1	1
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	2	1	3
計	3	2	5

⑤在籍者数調べ (初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	117	117	117	117	117	118	118	117	117	116	116	116	1,403
障害支援区分5	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	26	26	302
障害支援区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	146	146	146	146	146	147	147	146	146	145	146	146	1,753

【生活介護】

①利用者人数調べ

区 分	人 員
-----	-----

	男	女	計
2019年度から本年度への繰越人員	98	48	146
本年度中の入所者数	2	3	5
本年度中の利用者総数	100	51	151
本年度中の退所者数	3	2	5
差引本年度から令和3年度への繰越人員	97	49	146
創立以来の利用者総数(大正7年11月30日)	860	427	1,287

②利用者月別人数調べ

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数		146	146	146	146	146	147	147	146	146	146	146	148	1,756
月平均	生活介護	104.5	105.8	104.8	105.0	105.3	104.5	104.2	103.0	108.1	115.8	100.7	104.8	105.5
入所		0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	5
退所		0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	2	5

③本年度入所者調べ

理 由	男	女	計
他施設より	2	3	5
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業生	0	0	0
計	2	3	5

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0

就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	1	1
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	2	1	3
計	3	2	5

⑤在籍利用者 区分別調べ (月初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	117	117	117	117	117	118	118	117	117	116	116	116	1,403
障害支援区分5	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	26	26	302
障害支援区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	146	146	146	146	146	147	147	146	146	145	146	146	1,753

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

*基本的に月曜から金曜日は毎日、日中活動、土曜日は月に2日から3日間、日中活動を行った。各ブロックの実態に合わせ、できる限り規則的な生活を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

- 1、意思決定支援を基本とした支援を心掛けよう

定期的にアンケートを実施し、意見を集約して会議で毎回議題にすることで権利擁護についての意識が高まった。おやつやカフェなど飲食の場面で、現物や写真などから自己選択できる機会を提供した。

2、転倒に配慮し、身体を動かす機会を増やそう。

ヒヤリハットのデータをまとめ、気を付ける場面を職員間で周知したことで軽減することができた。日中活動内で身体を動かす機会を多く提供することができた。

3、高齢化対策に向けた取り組みを行おう。

嚥下に配慮の必要な利用者の対応を表にまとめ、職員間で周知することができた。情報を収集し介護スキルの向上や環境整備を行なうことができた。

○年間行事報告

コロナ禍の影響で予定していた行事はできなかったが、少人数で近隣の公園に出かけたり、敷地内のカフェを利用した。また、夏休みや冬休みにはカラオケ大会や屋外遊び、書初め、ブロック内での初詣などのイベントを行ない楽しんでいただくことができた。

<ポピー>

1、人権・意思決定支援に配慮した支援を目指そう。

支援の方法や意思決定支援について実際に実施したことをアンケートで募り職員間で共有した。支援方法については会議で話し合いをすることで再確認はできたが、解決策を見出すまでには至らなかった。今後も検討していきたい。

2、利用者にとって健康で快適な生活を提供しよう。

健康管理について困っていることや、歯磨きの方法、体重の増減や食事の状況について情報を共有し、必要に応じて話し合いを行なった。また、機能維持を目指してレクリエーションの提供をしたが回数は不十分だった。今後、身体を動かす機会を増やしていきたい。

3、安心、安全な環境作りをしよう。

ヒヤリハットの分析を毎月のケース会議で実施し、情報を共有した。掃除の時間を多く設定し、普段手の届かない部分の清掃を徹底して行うことができた。

○年間行事報告

コロナ禍のため外出を控えたが、季節の行事では少人数でレクリエーションなどを実施した。敷地内のカフェに出かけたり、交流ホームで選択したお弁当を食べたりし、利用者さんには好評だった。

<ルピナス>

1、自閉症スペクトラム障がい(ASD)について知識を深めましょう。

職員向けのアンケートを実施し、個別支援が必要な利用者の支援マニュアルを作成することができた。

2、意思決定支援の充実を図りましょう。

感染対策のため利用者の意思を反映した外出は実現できなかったが、写真カードを活用して希望を汲み取る機会を設けることができた。

3、重度・高齢化に伴い食事支援の改善と見直しを行おう。

看護師、栄養士と相談しながら、現在の食事摂取状況に合わせた食形態や提供方法の見直しを行なった。

○行事計画反省

感染対策のため、外出行事はすべて出前での食事に代替えた。去年は参加することが難しかった利用者にも、ブロック行事に参加して頂けるよう工夫することができた。

<らいらっく>

1、高齢化に向けた取り組みをしよう。

高齢化に向けての意識が高まったが、支援内容に大きな変化を持たせることはできなかった。今後はより実践的な部分に取り組んでいけるようにしていきたい。

2、意思決定に配慮した支援を行おう。

会議を利用し知識を広げたり、事例を共有したりして意識を向上することができた。

3、安心・安全な環境整備を行おう。

感染症対策も含め、利用者の居住空間の清掃を徹底的に行なった。

○年間行事報告

コロナ禍の中においても季節の行事や、敷地内のカフェへ出かけたりと利用者を楽しんでもいただけるものを提供することができた。

<ぼぶら>

1、人権・意思決定支援に配慮した支援に努めよう。

実施した取り組みについて、検証、分析をすることで配慮した支援に繋がった。今後の課題も見えたので、次年度も継続していきたい。

2、活動の充実を図ろう。

日中活動について稼働率は良かったが、活動内容の再検討には課題が残った。入浴については細かい部分を調整し改善することができた。

3、安心して生活できる環境を整えよう。

医療情報シートの見直しを行い、最新情報を把握することができた。ヒヤリハットについてはケース会議で都度確認を行い周知を図った。外出時の支援注意点ファイルを作成し活用することができた。

○年間行事報告

コロナ禍で中止になったバス外出の代替えで、交流ホームを利用して食事会を行った。季節の行事は利用者を楽しんでもらえるものを提供することができた。

<あかしあ>

1、自閉症スペクトラム障がいに対する特性を把握し、実践しよう。

障がい特性シートと冰山モデルシートを作成し、それを基に掘り下げた内容で支援することができた。

作品制作や認知課題など取り組んでいることのアセスメントを行い、見直すことができた。

2. 健康増進への取り組みをしよう。

ゆっくり入浴ができるような体制の見直し、運動メニューとしてエアロバイクの活用、軽度の運動を取り入れたゲームの提供を行うことができた。

○年間行事報告

コロナ禍において今まで保証されていたことができなかつたが、代替え行事で対応することができた。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍数

施設長 (管理者)	サービス 管理責任者	生活 支援員	事務 員	栄養 士	看護 師	その他 職員	協力 医	心理・ 音楽療法 士	合計	給食 業務委託
1	4	(13) 95	6	2	1	(4) 1	(3)	(3)	(23) 110	(7) 7

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 令和3年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
2.4.1～	生活支援員等	25名	2.4.1～	生活支援員等	19名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2.4.1	生活支援員	5名	3.3.31	生活支援員等	3名
くるみ寮からの異動			そよ風へ異動		
2.4.1	生活支援員	1名	3.3.31	生活支援員	1名
就業・生活相談室しんさっぽろからの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2.4.1	生活支援員	1名	2.3.31	生活支援員	3名
そよ風からの異動			くるみ寮へ異動		
R2.4.1	生活支援員等	2名	3.3.31	生活支援員	1名
			ホープスへ異動		

			3.3.31	生活支援員	1名
			サポート91		
			3.3.31	生活支援員	2名
			のぞみ寮へ異動		
			3.3.31	生活支援員	2名
			幌西ほうおんへ異動		
			2.3.31	生活支援員	1名

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
6/15～18	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
6/18	施設経営に活かすための決算書の見方・活用法	オンライン	3名
6/29～7/2	行動援護従事者養成研修	札幌市	5名
7/9	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
7/10	社会福祉法人決算分析	オンライン	1名
7/19	新型コロナウイルス感染症予防対策研修会	札幌市	3名
7/29	栄養 web セミナー	オンライン	1名
8/19～	介護福祉士実務者研修(計9回)	札幌市	6名
8/22	食欲不振患者の評価と対策	オンライン	1名
8/24～27	行動援護従事者養成研修	ZOOM	2名
8/28～29	小型車両系建設機械運転免許講習	札幌市	1名
9/1	令和2年度栄養士専門研修	札幌市	2名
9/3	ファシリテーション技術向上研修	札幌市	1名
9/14～17	行動援護従事者養成研修	ZOOM	1名
9/25	職場で活かせる感染管理研修:看護師	ZOOM	1名
9/26～27	強度行動障害支援者研修(基礎)	オンライン	1名
10/7	クレーム対応セミナー	札幌市	1名
10/8～9	サービス管理責任者基礎研修	ZOOM	1名
10/17.18.31 11/1	介護福祉士実習指導者講習会	札幌市	1名

10/21	管理職が知っておくと便利な上手なアドバイスのヒント	ZOOM	2名
10/22	サービス管理責任者基礎研修	ZOOM	1名
10/1～	(1日)広報講習会	オンライン	3名
10/20～	(1日)身体拘束をせずに事故を防ぐ方法	オンライン	9名
11/5	エルダー・メンター制度研修	札幌市	1名
11/7	第一回個別支援研修(4法人研修)	ZOOM	4名
11/9	施設職員スキルアップ講座	札幌市	1名
11/19	年末調整システム研修	ZOOM	2名
12/7～10	行動援護従事者養成研修	ZOOM	1名
1/19～20	社会福祉法人 予算・決算セミナー	札幌市	1名
1/23	2020年度特別研修会(栄養士研修)	ZOOM	1名
1/26	令和2年度 権利擁護セミナー	オンライン	10名
1/25～28	行動援護従事者養成研修	ZOOM	1名
2/2	サービス管理責任者更新研修	札幌市	1名
2/5～12	社会福祉士実習指導者講習会	オンライン	2名
2/10	認知行動療法の技法を学ぶ	オンライン	3名
2/15～	令和2年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン	3名
2/17	健康保険委員オンラインセミナー	オンライン	1名
2/19～	北海道強度行動障がいフォローアップ研修	オンライン	6名
3/4	サービス管理責任者更新研修	ZOOM	1名
3/10	成年後見制度普及セミナー	オンライン	1名
3/15～18	行動援護従事者養成研修	ZOOM	1名
3/18	サービス管理責任者更新研修	ZOOM	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間帯は現状で特に問題は無かった。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。今後も必要に応じた対応を行っていく。

(5)諸会議

- ・定例の会議についてはZOOMも併用し、ほぼ予定通り実施する事が出来た。

【グリーンホーム厚別 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排せつ、及び食事介助、生産活動及び創作的な活動、その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。
- 施設入所支援においては、主として夜間における安全に配慮し生活全般において、相談及び助言その他の必要と思われる日常生活の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染症対策の為受け入れ制限を行い、緊急性の高いニーズにお応えしました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60名(入所契約数 62名)
受け入れ目標(年間延べ)	21,272名 (62人×365日×0.94)
受け入れ実績	22,176名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60名(生活介護契約数 68名)
受け入れ目標(年間延べ)	17,743名 (68人×269日×0.97)
受け入れ実績	17,264名

③知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6名
年間延べ	900名
受け入れ実績	483名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
年間延べ	1名
受け入れ実績	1名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、21,272名の目標に対して実数は22,176名であり、目標数値は達成であった。生活介護においては、実数17,264名の利用で未達成であった。短期入所事業においては、900名の目標に対し実数483名の利用、日中一時支援は5名の目標に

対し実数 1 名で未達成であった。

[施設入所支援]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2019 年度から本年度への繰越人員	35	25	60
本年度中の入所者数	2	3	5
本年度の利用者総数	37	28	65
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度から 2021 年度度への繰越人員数	35	27	62
創立(S51. 6. 1.)以来の利用者総数	121	103	224

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	61	61	61	61	62	62	62	62	62	62	62	64	742
月平均	58.3	58.4	59.7	60.9	61.8	61.8	60.0	61.0	61.5	62.0	62.0	61.9	60.8
入所	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	5
退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3

③本年度入所者数調べ

男	女	計
2 人	3 人	5 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	1	0	1
他施設へ異動(医療機関へ)	1	1	2
死 亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	2	1	3

⑤在所利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	35	35	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	415
障害支援区分5	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	293

障害支援区分4	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
障害支援区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	61	61	61	62	62	62	62	62	62	62	62	740

[生活介護]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2019年度からの繰越人員	40	26	66
本年度中の入所者数	2	3	5
本年度の利用者総数	42	29	71
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度から2020年度への繰越人員	40	28	68
S51. 6. 1以来の利用者総数	124	104	228

平成23年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	67	67	67	67	68	68	67	68	68	68	68	68	811
月平均	43.6	44.5	46.2	48.4	48.1	48.6	48.1	46.9	49.8	55.6	47.5	50.0	48.1
入所	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	5
退所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3

③本年度入所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
他の施設より	2	2	4
在宅者	0	1	1
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	2	3	5

④本年度退所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	1	0	1

他施設への異動	1	1	2
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	2	1	3

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	35	35	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	415
障害支援区分5	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	293
障害支援区分4	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	104
障害支援区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	67	67	67	67	68	68	68	68	68	68	68	68	812

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

<生活共通目標>

- ①自己選択、自己決定を尊重し、個々のニーズに合った支援を提供します。

②快適に暮らすことが出来る生活環境を提供します。

<すずらん>

①ア:個々の障害特性を理解し、その人らしい生活が出来るように支援します。

・支援の専門機関に相談する機会を設け、自閉症スペクトラムの利用者に焦点を当てた専門的な支援を実践することが出来たが、精神疾患を持つ利用者への理解が不十分な面もあった。障がい特性を正しく理解し専門性を持った上で支援をしていく。

イ:高齢化に伴う日々の変化に適宜対応できるように支援します。

・高齢化に伴う身体的な機能の低下が見られた際は、その状態についての経過観察と記録を残し、速やかに医療機関へ繋げることが出来た。又、身体的な疾患に関する対応方法について、看護師・栄養士などの専門職と連携を取りながら対応することが出来た。

②ア:清潔体制を整え、寮内をいつも清潔に保ちます。

・デイルームや廊下・トイレの清潔は概ね保つことが出来ていたが、利用者の居室や当直室、倉庫等の清掃や整理整頓が行き届かず不十分な部分も多くあった。

イ:季節に応じた清潔な衣類で過ごせるよう支援します。

・季節に応じた衣類の提供は概ね出来ていたが、清潔な衣類の提供という部分に関しては不十分であった。衣替えだけでなく、常日頃から衣類の状態について確認し、不備のないよう徹底していく。

<はまなす>

①ア:自己選択が出来る場面を作り、自己決定に繋がられる機会を大切にします。

・外出先は限られていたが、出来るだけ選択することを前提にした支援が出来た。自己決定にまだ至らない点もあるが、今後も言語だけに頼らない支援をしていく。

イ:毎日の体調を細やかに把握し、迅速な対応が出来るように支援します。

・基本的なバイタルチェックだけではなく、全身状態についても着替えや排泄時等の機会に今まで以上に意識を持つことが出来た。

②ア:ご本人との方が暮らしやすい生活を一緒に考え、支援します。

・定期的に生活主任や生活担当者とも意見を交わし、どのようにすることでその方が混乱なく過ごせるのか検討し、提供していくことが出来た。

イ:季節や年齢にあったふさわしい衣類を常に提供します。

・生活職同士の中での意見交換が頻繁にあった。そこから概ね足並みを揃えた衣類提供が出来ていた。室内の衣類だけではなくジャンパーや防寒具、靴など細部に渡って今後も不備のないよう徹底していきたい。

<日中活動>

- ①利用者の心身の変化に配慮し、ニーズに沿った活動を提供できるよう支援します。
- ・利用者個々の特性や体調に配慮し、ご本人の希望に添えるようニーズに沿った活動の提供をすることが出来た。
- ②利用者が気持ち良く作業を行えるよう、作業場の環境整備と美化に努めます。
- ・各作業担当と整備箇所を確認して利用者が作業をしやすい環境を整えた。まだ整備不十分な箇所がある為、継続して行う。

(5)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
8月15日	花火大会	グリーンホーム駐車場	62名
11月20日	勤労感謝の会	各寮内	61名
12月15日	すずらんクリスマス会	グリーンホーム食堂	36名
12月22日	はまなすクリスマス会	グリーンホーム食堂	26名
1月7日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	62名
2月3日	豆まき	はまなすデイルーム、すずらん食堂	62名
2月11日	駅弁フェア	グリーンホーム食堂	62名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								及び契約パート職員	栄養士他
1	2	(5) 30	2	1	1	(2)	(7) 37	(8)	(1)

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数

2020.4.1	生活支援員等	4名	2021.3.31	栄養士	1名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
2020.4.1	生活支援員	4名	2021.3.31	生活支援員	4名
そよ風からの異動			そよ風へ異動		
2020.4.1	生活支援員	1名	2021.3.31	生活支援員	2名
幌西ほうおんからの異動			ホープスへ異動		
2020.4.1	生活支援員	1名	2021.3.31	生活支援員	1名
くるみ寮からの異動					
2020.4.1	生活支援員	1名			

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
・7/10	社会福祉法人 決算分析 Web 解説・個人相談会	オンライン	1名
・6/29～7/2	北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	2名
・7/15～16、8/18～19	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
・7/29	医療従事者が知っておくべきサルコペニと低栄養の最新の話	オンライン	1名
・9/1	栄養士専門研修	札幌市	1名
・9/11～12、18～19	北海道行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
・10/1～2	看護師専門研修	札幌市	1名
・10/7	苦情・クレーム対応セミナー	札幌市	1名
・10/12～15	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	1名
・11/5	エルダー・メンター制度導入支援研修	札幌市	1名
・11/7	北海道四法人個別支援計画作成研修	オンライン	2名
・11/19～20	北海道サービス管理責任者等研修(基礎)	オンライン	1名
・12/17	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設)	オンライン	1名
・1/21	北海道サービス管理責任者等研修(更新)	オンライン	1名
・1/26	権利擁護セミナー	オンライン	6名
・2/9	衛生推進者養成講習	札幌市	1名
・2/25	北海道サービス管理責任者等研修(更新)	オンライン	1名

(4)勤務時間

勤務時間帯は現状で問題は無かった。夜間に関しては必要に応じて3名体制を取っていた。通所の送迎に関しても臨機応変に対応することが出来た。今後も利用者様の状態に応じて必要な対応を行っていきたい。

(5) 諸会議

定例の会議については、予定通り実施することが出来た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○食事や入浴、排せつ等の介護および日常生活上の支援を提供し、かつ創作的活動または生産活動、レクリエーションや季節の行事等の機会を適切、効率的にとりいれ、利用者の自立促進、生活の質の向上に努めました。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

利用定員 20名(利用契約数 27名)
受け入れ目標(年間延べ) 5,380名 (20名×269日)を目標とする。
(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)
受け入れ実績 5,878名

(2) 在籍実績

利用人員目標を 5,380名としており、実数が 5,878名となり達成できた。

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2019年度から本年度への繰越人員	13	10	23
本年度中の入所者数	3	5	8
本年度の利用者総数	16	15	31
本年度中の退所者数	2	2	4
差引本年度から2021年度への繰越人員数	14	13	27
創立(H18.10.1)以来の利用者総数	51	42	93

②利用者月別人数調べ

	開所日数 (日)	契約数 (人)	延べ 利用者数(人)	原則日数 ×定員数	定員超過利用減算 に関わる利用率	平均 利用者数	平均 区分
--	-------------	------------	---------------	--------------	---------------------	------------	----------

4月	26	30	568	520	109.2%	21.8	5
5月	26	30	543	520	104.4%	20.9	5
6月	26	31	577	520	111.0%	22.2	5
7月	27	31	601	540	111.3%	22.3	5
8月	26	31	542	520	104.2%	20.8	5
9月	26	29	523	520	100.6%	20.1	5
10月	27	29	532	540	98.5%	19.7	5
11月	25	29	375	500	75.0%	15.0	5
12月	25	29	226	500	45.2%	9.0	5
1月	24	29	454	480	94.6%	18.9	5
2月	24	28	440	480	91.7%	18.3	5
3月	27	27	497	540	92.0%	18.4	5
計	309	353	5,878	6,180	95.1%	19.02	5

③本年度入所者数

理由区分	男	女	計
他の通所施設より	3	5	8
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	3	5	8

④本年度退所者数

理由区分	男	女	計
他施設へ	1	2	3
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	1	0	1
計	2	2	4

(3)日課表

9:30～ 登園、視診、ミーティング
10:00～ 設定活動、個別活動

11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

- 1、利用者様のニーズを汲み取り、そよ風内の配置を見直し、転倒予防、安心、安全な活動を提供する。
 - ・年度当初に転倒による怪我が一件あった。転倒しやすい場所や条件を検証し、ひじ掛けのない椅子はひじ掛けのある椅子へ交換、利用者の導線を考えソファや机の配置変更を行い、常に転倒や安全に配慮した支援に努めた。
- 2、そよサタ(土曜日の活動)の内容を再構築し、より楽しんでもらえる内容にする。
 - ・身体を使ったすごろくや室内運動会、クリスマスやひな祭り行事に使うオーナメント作りなど新しいレクリエーションやクラフト制作を取り入れ、土曜日に出席した利用者楽しんで貰うことが出来た。
- 3、日課の確立、余暇時間の過ごし方を検討する。
 - ・歩行距離の検討、課題の充実、設定活動の内容を随時更新した。余暇では、踊りや体操など身体を動かせる DVD、バランスボールでのストレッチ、スクラッチアートなど利用者個々にあった余暇を提供することが出来た。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
5月5日	こどもの日	そよ風ホール	19名
8月8日	夏祭り	ライトコート・ダリア	22名
11月18日	感謝の集い	そよ風ホール	22名
1月4日	新年会	そよ風ホール	17名
2月3日	節分・豆まき	そよ風ホール	23名
3月3日	ひなまつり	そよ風ホール	21名
3月27日	お楽しみ会	そよ風ホール	13名

2. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	協力医
(1)	(1)	(5) 10	(1)	(1)	(3)

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

(2)職員の異動数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2020.6.1	生活支援員	1名	2020.9.30	生活支援員	1名
2020.3.23	生活支援員	1名	2021.3.31	生活支援員等	2名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
2020.4.1	生活支援員	3名	2021.3.31	生活支援員	1名
2020.4.1	事務員	1名	ステーション106へ異動		
ホープスからの異動			2021.3.31	生活支援員	1名
2020.4.1	生活支援員	1名	くるみ寮・のぞみ寮へ異動		
			2021.3.31	管理者・サビ管	1名

(3)研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出 席 者
・11/5	エンター・メンター制度導入支援研修	札幌市	1名
・1/26	権利擁護セミナー	オンライン	1名
・2/12	北海道サービス管理責任者等研修(更新)	オンライン	1名

(4)勤務時間

勤務時間は現状で問題はなかった。送迎に関しても、状況に合わせて柔軟に対応できた。

(5)諸会議

定例の会議については予定通り実施できた。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

○生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供し様々な活動・作業を行いました。

○就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートしました。

2.利用者支援

(1)受け入れ目標 15,000名(達成率:89.6%)

生活介護定員 20名(契約数 26名) ⇒年間延べ利用者数:5,896名

就労継続支援B型定員 20名(契約数 27名)⇒年間延べ利用者数:5,197名

就労継続支援A型定員 10名(契約数 10名)⇒年間延べ利用者数:2,350名

合計 13,443名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2019年度から本年度への繰越人員	63名
本年度中の入所者数	4名
本年度の利用者総数	67名
本年度中の退所者数	5名
平成13年4月1日開所以来の利用者数	96名

②利用者月別人数調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	306
延べ人数	479	495	522	535	527	515	539	416	302	521	485	560	5,896
開所日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311
月平均	18.4	19.0	20.1	19.8	20.3	19.8	20.0	16.6	11.2	21.7	20.2	20.7	19.0
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	27	26	26	26	25	25	25	26	27	28	28	28	317
延べ人数	421	447	463	476	474	439	451	344	231	499	437	515	5,197
開所日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311
月平均	16.2	17.2	17.8	17.6	18.2	16.9	16.7	13.8	8.6	20.8	18.2	19.1	16.7
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
退所	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	5

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ人数	209	213	214	224	225	214	224	156	78	193	191	209	2,350
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
月平均	7.3	6.9	7.1	7.2	7.3	7.1	7.2	5.2	2.5	6.2	6.8	6.7	6.4
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	1	4	5
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	1	4	5

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	1	0	1
家庭から	1	1	2
その他	1	0	1
計	3	1	4

⑤在籍利用者数、区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	5	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5	5	62
障害支援区分5	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	195
障害支援区分4	24	23	23	23	22	22	22	23	24	24	24	24	278
障害支援区分3	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	157
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
未実施	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39
計	63	61	61	61	60	60	60	62	63	64	64	64	743

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4時間から 5時間の 就労 (シフト制)		
9:30	朝会					
9:35	生産・日中活動開始					
10:50	休憩					
11:00	活動再開					
12:00	昼食・休憩					
13:00	活動再開					
14:45	コーヒータイム					
15:00	活動再開					
16:00	活動終了					
16:30	退勤				18:00	退勤

(4)部門目標(反省)

■生活介護事業所

- ・楽しみや喜びを感じられる活動を提供します。
⇒コロナ感染症対策を取り、少人数で利用者様の意向も聞きながら、散歩やおやつづくり、創作活動を行った。
- ・利用者の持っている力を維持または発揮できる作業を行います。
⇒新規にモップ作業・アイロンビーズ製作をとり入れた。利用者様の選択肢が増えて、作業に対する意欲や満足度も高まっていた。
- ・安心して生活できるように合理的配慮に努めます。

⇒午前・午後とスケジュールの確認やケース分析を行い、生活環境の構造化や写真やカードを使った情報を視覚化した支援を行った。

■就労継続支援(B型)

・より良い製品を届ける為に技術向上の支援をします。

⇒個別に技術指導を行い、利用者の作業技術維持と作業意欲向上に繋がり、丁寧で綺麗な製品・商品を納める事が出来た。

・新規作業の開拓を行い、安定した収益を確保に努めます。

⇒新規作業の開拓はできなかった。また、コロナ禍で即売の中止・業者からの作業受注が減少し、前年度よりも収益が減少した。毎月の工賃支給はできた。

・やりがいや生きがいにつながる作業を継続させるため、ニーズの把握と販路の拡大に努めます。

⇒ コロナ禍で外部販売が出来なくなり販路の拡大はできなかった。法人事業所や元気ショップ等の販路の維持はできた。

■就労継続支援(A型)

・心身の特性に配慮し、自分らしく働けるように支援します。

⇒体力・技術面を考慮して作業配置を行い、作業場所の環境や対人面で不安を持つ利用者には細やかな面談や作業確認を行った。

・多様な内容の作業を経験し、スキルの向上や一般就労につながる支援をします。

⇒利用者の希望や個別支援計画に基づき、作業配置と技術支援を行った。

職員と一緒に作業を行い、繰り返し作業工程の確認をすることで作業技術維持はできた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	15	水	春のお楽しみ会	cafeラベンダー	51名
12	25	金	クリスマス会	ワーク食堂	51名
1	8	金	新年会	ワーク食堂	51名
2	2	火	節分	ワーク食堂	47名
3	31	水	慰労会	ワーク食堂	58名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	1	(7)	1	(1)	(4)	(1)	(1)	(15)
					9		1				16

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2020. 4. 1	管理栄養士	1名	2020. 5. 8	生活支援員	1名
2020. 7. 1	生活支援員	1名	2021. 1. 31	パート(調理員)	1名
			2021. 2. 6	パート(生活支援員)	1名
報恩学園からの異動			報恩学園へ異動		
2020. 4. 1	主任	1名	2021. 3. 31	主任	1名
	生活支援員	3名		賃金向上達成 指導員	1名
			グリーンホーム厚別へ異動		
			2021. 3. 31	職業指導員	1名
				生活支援員	1名

(3)職員の研修

日 程	研修名	開催地	出席者
2020.6.18-19	施設経営に活かすための決算書の見方・活用法	WEB	2名
2020.7.10	社会福祉法人決算分析	WEB	2名
2020.10.5	新任栄養士研修	札幌市	1名
2020.9.10	HACCP 導入講習会(菓子製造者向け)	札幌市	2名
2020.10.1	赤い羽根街頭募金	札幌市	1名

2020.11.7	個別支援計画作成研修	WEB	2名
2021.1.2	コベルコ 小型車両系建設機械運転特別教育	札幌市	1名
2021.2.25	法人役員・施設長専門研修	WEB	1名
2121.2.15	令和2年度 北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	WEB	2名
2021.15-18	行動援護従業者養成研修	WEB	1名
2021.3.11	北海道サービス管理責任者更新研修	WEB	1名

(4)勤務時間

・勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。

(5)諸会議

・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った。また、利用者生活の質の向上を目的として、利用者満足委員会を立ち上げた。今後は意思決定支援と地域社会参加をテーマに展開をしていく。

【のぞみ寮 概要】

— 宿泊型自立訓練・短期入所—

1. 支援目標(反省)

○一般就労や障害福祉サービスの利用者さまを対象に社会生活に必要な自立訓練を行ない、生活スキル及び社会適応能力の向上を目指し、円滑な地域移行の促進を図るべく、以下の事業を実施いたしました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～	6,000 名	実績:5,445 名
・年間利用者延べ人数(短期入所) ～	100 名	実績: 205 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2019年度からの繰り越し人数	8名	8名	16名
本年度中の入所者数	3名	3名	6名
本年度中の利用者総数	11名	11名	22名
本年度中の退所者数	4名	5名	9名
差引本年度から2021年度への繰越人員	7名	6名	13名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	120名	95名	215名

②利用者月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	16名	16名	16名	16名	16名	17名
入所	0名	0名	0名	0名	0名	1名
退所	0名	0名	0名	0名	0名	3名

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	14名	15名	15名	16名	13名	17名	187名
	0名	1名	0名	1名	0名	4名	7名
	0名	0名	0名	3名	0名	4名	10名

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
障害支援区分2	4	4	4	4	4	4	3	4	4	5	4	4	48
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	10	10	10	10	10	11	10	10	10	10	8	12	121
計	16	16	16	16	16	17	14	15	15	16	13	17	187

④本年度短期入所者調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(5日)
女	1名(2日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(11日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	11名
3名(39日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(28日)	1名(30日)	(205日)

⑤本年度退所者調べ

事由	男	女
GHへ	3名	4名
家庭	1名	0名
単身生活	1名	0名
他施設へ	0名	1名
合計	5名	5名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30	起床(各自)
7:15	朝食・出勤(各自)
12:30	昼食(休日)
18:30	夕食
19:00	入浴・自由時間
22:00	消灯

<行事>

- ・ 9月22日 報恩まつり
- ・ 7月中、テイクアウト等での食事会(分散実施)
- ・ 1月1日 年末年始食事会(分散実施)
- ・ 1月13日 成人のお祝い会

(4)ブロック目標(反省)

- ・地域移行に向けた具体的な研修プログラムを検討実施します。
⇒訓練カリキュラムの基本版を作成する事が出来ました。
- ・利用者定員20名の満床を目指します。(空床時の短期入所利用促進)

- ⇒平均利用者数(短期入所・私的契約含む)16.2名で推移しており、昨年度よりも利用率は向上しています。次年度は16名+SS1名での開始予定となっています。
- ・利用者の希望に即した地域移行を年度内に6~7名の実現を目指します。
 - ⇒9名の地域移行を達成する事ができました。
- ・次年度の利用者獲得の為、各学校等との情報交換や実習受け入れを行います。
 - ⇒実習や正規利用検討の宿泊体験(私的契約含む)を年間11名実施できました。
- ・北海道地域定着支援センターと連携し、受け入れ検討を勧めます。
 - ⇒昨年度からの継続者1名の支援を行い、地域移行へ繋げる事が出来ました。
- ・利用者自治会による自主的企画を基本に、地域活動や勉強会、くるみ寮との交流行事等を行います。
 - ⇒定期企画の形式以外にテイクアウトや寮内調理など、新企画を実施する事が出来ました。
- ・利用者個々のカンファレンスが即時実行出来るような体制づくりを行います。
 - ⇒個々の状況に応じて、適時関係者を交えたカンファレンスを実施する事が出来ました。
- ・くるみ寮との連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図ります。
 - ⇒学校、相談支援事業所、職場、就業・生活相談室、地域定着支援センターなどとの連携を更に深める事が出来ました。
- ・研修参加や施設内研修を実施する事で障がい特性に応じた支援を行います。
 - ⇒触法障がい者に関する研修など、各種外部研修に参加し、支援に活かすことができました。
- ・利用者の夜間早朝の生活訓練の充実を目指し夜間支援体制の強化を図ります。
 - ⇒早朝夜間の支援体制を確保しながら、モニタリングを通して支援強化に繋げる事が出来ました。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員・夜間支援員	地域移行支援員	栄養士	看護師	合計
1	1	(5) 2	(1) 1	(1)	(1)	(8) 5

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2020. 4. 1	生活支援員	1名	2021. 2. 28	夜間支援員	1名
2021. 3. 1	夜間支援員	1名	2021. 3. 31	管理者	1名
			2021. 3. 31	生活支援員	1名
			2021. 3. 31	夜間支援員	1名

(3)職員の研修

日付	研修名	場所	人数
7/25	余暇支援について	オンライン	3名
9/12	新型コロナウイルス感染症対策について	オンライン	4名
10/10	福祉有償運送運転者講習会	札幌	4名
11/7	個別支援計画作成研修(4法人)	オンライン	1名
2/25	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名
3/9	北海道障がい者虐待防止権利擁護研修会	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・ 日中以外にも必要とされる夜間支援ニーズに対して、夜間支援員を配置しながら勤務体制を組むことによって、比較的安定した支援を行なうことが出来ました。また、そのことから関係機関との会議など、日中時間帯にタイムリーに実施が必要なことへの対応がスムーズになりました。

(5)諸会議

- ・ 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、グリーンホーム厚別給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等3カ月1回開催により法人内各事業所との連携を継続できました。
- ・ 地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係者等との調整会議を実施しました。
- ・ コロナ禍であり、リモートでの会議も実施した。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行いました。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動行いました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 27,100 名 実数:26,194 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人員		
	男	女	合計
2019 年度から本年度への繰越員数	57 名	17 名	74 名
本年度中の入所者数	1 名	0 名	1 名
本年度中の利用者総数	58 名	17 名	76 名
本年度中の退所者数	1 名	1 名	2 名
差引本年度から 2021 年度への繰越人員	57 名	16 名	73 名
創立以来(平成 22 年一体型以来)の利用者数	77 名	32 名	109 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	74	73	73	73	73	73	72	73	73	73	73	73	
入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

③在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分 6	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	29
障害支援区分 5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
障害支援区分 4	16	16	16	15	15	16	16	16	16	16	16	16	190
障害支援区分 3	25	24	24	25	25	24	23	24	24	25	24	24	291
障害支援区分 2	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	222
障害支援区分 1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	74	73	73	73	73	73	72	73	73	73	73	73	876

※区分変更者あり

④退所者調べ

事由	男	女
他施設へ	1名	0名
家庭	0名	0名
その他	0名	1名
合計	1名	1名

(3)日課、行事

<日課>

・利用者さんの出勤状況により1日の流れが異なる為、ホーム毎の日課で対応。

<行事>

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い全体行事は中止とした。

・季節行事は、ホーム単位など小規模企画に変更して、ハロウィン・クリスマス・節分を実施した。

(4)ブロック目標(反省)

・余暇の充実を図り、生活の質の向上をめざす。

⇒余暇支援については、新型コロナ感染症の関係で、外出自粛を行ったため、個々の要望に応えることができなかった。

・分散して暮らす GH 利用者の災害発生時に適切に対処できるように体制を整える。

⇒各ホームそれぞれ年間3回の避難訓練を実施することができた。火災と地震を想定し電話での連絡方法の確認を行った。非常食は消費期限切れを処分し購入・補充を行った。

・GHの支援の質の向上を目指し、研修会を実施する。

⇒虐待防止研修、感染症対策研修、DVDやインターネットを活用し全職員・世話人・夜間支援員に行なった。

・GH利用者の成年後見制度の利用促進を図る。

⇒各利用者に解りやすいよう資料を作成し各GHに提示したが、説明会が開けなかった。

・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制の強化を図る。

⇒看護師を中心とした健康状態の把握ができた。利用者の症状に合わせた通院や手当に対する初動が効率よく行われるようになった。あらゆる感染症に対応するため備品の確保やハウステクニックなど正しい使用法を身につけることができた。

・利用者支援を効率的・効果的に行うためGH運営の仕方について検討し構築する。

⇒利用者に好まれる住環境を目指し新規物件の獲得のための情報を集めたが契約には至らなかった。食事の提供に関しては一部のホームで新しい形態を導入できた。今後も満足度調査を継続していく。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	世話人	合計
1	(2) 1	(2) 8	(1) 1	(1)	(56)	(62) 11

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
2020. 4. 1～	世話人他	6名	2020. 3. 31	施設長	1名
札幌報恩学園より異動			2121. 4. 1～	世話人他	7名
2020. 4. 1	支援係長	1名	グリーンホーム厚別へ異動		
2020. 4. 1	生活支援員	2名	2021. 3. 31	支援課長	1名
			2021. 3. 31	生活支援員	1名
			札幌報恩学園へ異動		
			2021. 3. 31	生活支援員	1名

(3) 研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
6/18	施設経営に活かすための決算書の見方	Zoom	1名
9/8	2020 度北海道サービス管理責任者更新研修	札幌	1名
10/10	福祉有償運送運転講習	札幌	6名
11/16~19	令和2年度北海道行動援護従事者養成研修	札幌	1名
12/8	差別解消と合理的配慮について	Zoom	2名
2/2	2020 度北海道サービス管理責任者更新研修	札幌	1名
2/25	2020 度北海道サービス管理責任者更新研修	Zoom	1名
2/26	触法研修	Zoom	7名

(4) 勤務時間

- 7:00 から 20:00 の日中帯の支援においては、早出、日勤、遅出の組み合わせのシフト制により円滑に対応できた。20:00 から翌 7:00 の夜間帯の支援においては、障がいの重度化、高年齢化に備え、より介護サービス包括型に相応しい勤務体制の工夫も大きな課題である。

(5) 諸会議

- くるみ寮のぞみ寮の、合同職員朝会は新型コロナウイルス感染症の影響で職員の交差を避けるべく中止した。毎日9:30と11:30に打ち合わせを行い職員間の情報共有と連絡の場を設けた。各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の年4回開催の継続、ワークショップ上野幌給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等により法人内各事業所との連携継続できた。
- 毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- くるみ寮支援会議を毎月定例開催出来た。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

1. 支援目標(反省)

- ・就労移行支援では、前年度実習を受けた高等養護学校の卒業生が利用を開始しましたが定員6名を満たすことができませんでした。
- ・新しい作業に取り組むことができ利用者さん個々の状況に合わせて作業を提供することができました。
- ・新規に作業場所を借り増しすることができました。今後は新しい場所を含めた環境づくりを行っていく必要があると思われまます。(休憩場所、移動が困難な方への配慮など)

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

① 定員 20 名(年間利用人数 28 名)

年間受入目標(年間延べ) 5,400 名

年間受入実績 移行:2 名(利用率 0.9%) B 型:3,604 名(利用率 84.3%)

(2)利用者の在籍数、実績数

①利用者人数調べ

	男	女	計
2019 年度から本年度への繰越人員	16	1	17
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度中の利用者数	16	1	17
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から 2021 年度への繰越人員	15	1	16
創立以来の利用者数	49	9	58

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	203
月平均	11.6	12.7	12.7	13.5	13.6	12.7	12.7	9.6	12.4	13.4	11.9	11.7	12.4
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

③本年度入所利用者調べ

入所者数	男	女	計
	0	0	0

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	1	0	1
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
障害支援区分4	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
障害支援区分3	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	66
障害支援区分2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
障害支援区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	203

(3)利用者の日課表

・9:00 より通所の受け入れを行い、9:30～16:30 まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5月1日	お花見会	厚別南公園	10名
10月16日	社会見学	カフェラベンダー・ひまわり	11名
1月15日	新年会	ホープス事業所内	13名

2月3日	節分	ホープス事業所内	13名
3月13日	慰労会	ホープス事業所内	10名

※一泊旅行はコロナ禍のため中止になりました。
忘年会は休業中のため中止になりました。

(5)事業所目標(反省)

- ①就労移行支援利用希望者の獲得を目指す。
 - ・前年度の実習を通して1名の就労移行の利用開始ができましたが、定員を満たすことはできませんでした。
- ① 作業内容に合った建物を検討する。
 - ・新しくモップ作業を取り入れることが出来ました。それに伴い、これまでの作業場の隣を借り増しすることができました。今後はより作業がしやすいように休憩場所や作業環境を整えることに取り組みます。
- ② 作業の効率化、新規事業の開拓もふくめ、作業環境の改善を図る。
 - ・草刈り作業、冬囲い作業の新規の受注を受けることが出来ました。
 - ・新規にモップ作業を取り入れることが出来ました。
 - ・利用者さんの希望する作業や個別支援計画に上げられている作業は継続して提供することができました。
- ③ 前年比 10%増の収入を目指す。」
 - ・従来の作業のベースアップはできませんでした。
 - ・モップ作業を新規に取り入れることが出来ました。
 - ・コロナのため休業期間があり作業量が減り収入の増加は見込めませんでした。
- ④ 計画的に研修を受講し、一人1回／年を継続する。」
 - ・リモートによる研修が多く、達成できませんでした。

3. 職員の勤務状況

(1)職員の在籍数調べ

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員		職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
1	1	1	1		(1) 1	(2)	1	(1)	(1)	(5) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
			くるみ寮へ異動		
			2021.3.31	生活支援員	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
11/7	第1回個別支援計画作成研修(リモート)	札幌市	1名
1/14	令和2年度北海道サービス管理責任者更新研修 (リモート)	札幌市	1名
1/26	令和2年度 権利擁護セミナー (リモート)	札幌市	1名

(4)勤務時間

・職員の勤務時間は 9:00～17:30で特に問題ありませんでした。

(5)諸会議

・ホープスの支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はありませんでした。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響はありませんでした。

【サポート91 概要】

—居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

1. 支援目標(反省)

- ・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した生活が送れるよう通院や余暇の支援を行いました。
- ・今年度はコロナの影響で休業期間もあり、また外出先が制限される中、ご自宅での支援や外での支援を中心に行いました。

2. 利用者支援

(1) 利用者の受入目標

・3月31日現在の契約者数は76名、うち居宅介護(ご自宅での見守り、入浴などの支援等)43名、行動援護(外出時の付き添い等)21名、同行援護(視覚に障がいのある方の支援)2名、移動支援(札幌市の制度、外出の付き添い等の支援)41名、私的契約(制度では賄えない部分の支援、通学時の支援、事業所とご自宅の送迎等)40名、重度訪問介護(ご自宅での重度重複障がいの方の支援等)1名となっています。(重複者含む)2020年度は新規契約者数6名でした。

(2) 利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	40	40	41	42	42	42	42	42	43	43	43	43	503
重度訪問介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
行動援護	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	244
同行援護	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	63	63	64	65	65	65	65	65	67	67	67	67	783

(3) 利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	26	33	34	44	37	29	37	23	12	17	13	22	327
重度訪問介護	24	20	24	26	24	16	20	16	12	24	20	26	252
行動援護	12	14	17	18	16	20	20	14	5	14	16	20	186
同行援護	4	8	6	5	6	6	6	4	4	5	5	4	63
合計	66	75	81	93	83	71	83	57	33	60	54	72	828

(4)利用者契約者数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	40	40	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41

(5)利用者延人数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	5	14	20	18	18	23	22	18	7	15	16	15	191

(6)契約者総数

(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
同行援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	5
移動支援	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

(7)事業所目標(反省)

①「通院介助2件増を目指す」

- ・グループホームの事業所や相談室と連絡を取り合い、新規契約に結び付けることができた。
- ・外出の利用者より情報収集し、身体介護、通院介助の追加契約を行うことができた。

②「公用車の購入を検討する」

- ・購入について具体的な話し合いを持つことが出来た。

③「居宅介護事業の質の向上を図る」

- ・月に1回個別支援計画検討会議を開催し個々のケースを検討することができた。
- ・全体で計画や目標を意識して支援することができた。
- ・現場の職員が講師となり事業所内研修を行いました。今後も継続して行います。

- ・個別支援計画については滞ることなく進むことができ全体で把握することができました。
- ・毎月振り返ることで支援状況を全員で知ることができました。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者		事務員	看護師	協力医	合計
(1)	2	(2) 2		(1)	(1)	(1)	(6) 4

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
ワークショップ上野幌より異動			報恩学園へ異動		
2020. 4.1	支援係長	1 名	2021.3.31	支援係長	

(3)職員の研修

日 程	研修名	場 所	人 数
7/10	福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習	札幌市	1 名
10/15、22	同行援護従業者養成研修一般課程	札幌市	1 名
11/5、12	同行援護従業者養成研修応用課程	札幌市	1 名
1/26	権利擁護セミナー(リモート)	札幌市	1 名

※その他、登録ヘルパーの研修を事業所で1回行った。

(4)勤務時間

- ・通常勤務は 9:30～18:00 となっているが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行いました。

(5)諸会議

- ・支援の調整を行うことで月1回開催できました。
- ・特に問題はありませんでした。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・サービス等利用計画作成の契約者数が 260 人を超し、計画作成件数、モニタリング件数が 520 件近くまで増えているが、今後も丁寧なアセスメントを心がけていく。
- ・厚別区地域部会の開催がされず、他機関との連携が図りづらくなっているが、今後も厚別区内の委託事業所や指定事業所と情報を共有しながら対応していきたい。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2019 年度からの本年度への繰越契約者数	171	92	263
本年度中の新規契約者数	2	4	6
本年度中のサービス等利用計画作成件数	81	34	115
本年度中のモニタリング件数	267	141	408
本年度中の契約解消者数	4	4	8
創立以来の契約者数	182	108	290

② 新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	0	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	5
精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	6

③相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	3	0	2	5	3	2	3	5	2	1	0	3	29
契約者数	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	6

(2)事業所目標(反省)

①「札幌市の委託の募集に備える」

厚別区の委託相談室の募集があり、応募した。残念な結果とはなったが、業務の振り返りや今後について考えるきっかけとなった。

②「サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す」

兼務職員 1 名が年度途中で抜けたが、事前に分かっていたため、2 名体制でも計画を持って取り組むことが出来たが、新規受入に難しさを感じるがあった。法人内で計画作成が必要な方には対応することができた。

③「正確なスケジュール管理を行う」

エクセルで表を作成し、スケジュール管理を行うことができた。自治体の都合で、モニタリング期間や計画作成時期がずれることがあるため、今後も受給者証の確認をしっかり行っていくことが求められる。

④「相談支援専門員を養成していく」

今年度は基礎研修を 2 名、現任研修は 1 名受講した。現任研修は 4 名申し込みをしたが 1 名しか受講できなかったため、計画的に受講を進めていく必要がある。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(2) 1	(1)	(1)	(1)	(6) 1

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2021.3.1	相談員	1名	2021.3.31	相談員	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
2020年9.10.12月	相談支援初任者研修	かでの2・7	1
2020年12月	相談支援従事者研修（現任者）	かでの2・7	1
2021年3月	北海道地域生活定着支援推進会議	Zoom	1

(4)勤務時間

・一般就労をされている利用者の方に聞き取りをする際に18時以降の面談実施が必要となるが、勤務時間の調整を行い、問題なく実施することができた。

(5)諸会議

- ・ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・開催日時はその都度調整し、問題なく行えた。

【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標:達成度

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し8年目の年となった。
相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という思いに応える支援を展開し、就職者が年間29名と目標を達成することが出来た。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2019 年度からの本年度への繰越登録者数	109	63	172
本年度中の新規登録者数	21	10	31
本年度中の登録相談者数	131	73	204
本年度中の登録抹消者数	22	18	40
創立以来の登録者数	286	169	455

② 新規登録者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	2	5	13
精神	0	0	1	2	0	3	0	1	3	0	1	2	13
発達	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	4	2	5	2	2	3	1	4	7	40

③ 相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	6	7	14	13	17	15	11	14	16	11	18	13	133
登録者数	0	0	3	4	2	5	2	2	3	1	4	7	40

(2) 事業所目標(反省)

① 年間就職者数 24 名を目標とする

・今年度は 29 名の方が就職され、目標を達成することが出来た。

② 支援の質を向上させる。

・緊急事態宣言期間中は面談数が少なかったため、勉強会を頻繁に開催し、知識向上に努めた。勉強会で取り上げるテーマも話し合いすぐに役立つことを学べた。情報共有の機会を毎日持つことで、担当だけではなく、全体で今後の支援について考える機会を持つことができた。

③タイムリーな面談対応を目指す。

・緊急事態宣言期間中は新規相談の件数もかなり少なく、2週間程度で面談を実施することができていた。今後も新規相談の電話対応について見直しやロールプレイを実施することで、タイムリーな面談対応を行っていく。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	4	2	(1)	(1)	(1)	(4) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
2020.4.1	相談員	1名	2021.3.31	相談員	1名
			2021.3.31	ジョブサポーター	1名

(3) 職員の研修

日程	研修名	場所	人数
6/19	元気スキルアップ研修	札幌市	1名
7/13・14・15	就業支援基礎研修	札幌市	1名
9/4	就労支援セミナー	札幌市	1名
9/7	就労支援セミナー	札幌市	1名
9/8・9・10	相談支援従事者初任者研修	札幌市	1名
9/14	就労支援セミナー	札幌市	1名
9/15	二次障がいを予防するワークショップ	札幌市	3名

9/18	元気スキルアップ研修	札幌市	1名
9/29	二次障がいを予防するワークショップ	札幌市	2名
10/13	就労支援セミナー	札幌市	1名
10/21	職業準備支援体験会	札幌市	1名
10/22・23	相談支援従事者初任者研修	札幌市	1名
10/24	発達障がいの傾向がある大学生の就労支援シンポジウム	札幌市	5名
10/26	就労支援セミナー	札幌市	1名
11/4	ミライに繋ぐ暮らしのセミナー	札幌市	2名
11/6	就業支援実践研修	札幌市	1名
11/13	2020 障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	札幌市	5名
11/18	相談支援従事者初任者研修	札幌市	1名
12/18	元気スキルアップ研修	札幌市	1名
2/3・4・5	発達障害地域生活・就労支援者研修会	札幌市	1名
2/15	障害者雇用オンラインセミナー	札幌市	2名
2/25	障がい者就労支援セミナー	札幌市	2名
2/25	職場適応援助者スキル向上研修修了者サポート研修	札幌市	1名
2/27	発達障がいのある方の雇用が、次のスタイルをつくる	札幌市	1名
3/5	CEF2021 質の高い障害者雇用を考える会議	札幌市	3名
3/19	発達障害がある学生の就活や職場定着におけるコミュニケーション学習会	札幌市	2名

(4)勤務時間

・支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営することが出来た。

(5)諸会議

・職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。

・施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図ることが出来た。

・外部の関係機関との会議の多くは中止となった。オンラインでの開催がされた就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議等には参加し、情報共有を行うことができた。

【まごころ保育園 概要】

— 保育事業 —

1. <支援目標(保育)反省>

- 0才、1才児クラスの入退所が多く人数が安定せず、結果として例年よりも入所人数が少なかった。また、育休の保護者も多く、短時間保育児が増えた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、長期休園する園児や3才以上児対象にマスクの着用など不安定な園児も見られ、衛生管理や安全管理についての環境作りをはじめ、職員同士の連携などに時間を要することもあった。
- 地域の方々の暖かいご理解もあり、散歩など行うことも少しずつでき、行事の実施工夫、園庭をフルに使用できたため、戸外活動を十分行うことができた。また、人数規制する中で、運動会、生活発表会等の大きな行事では、ビデオやZOOMを取り入れるなど保育の伝え方に新しい挑戦をすることができた。

2. 利用園児支援

- (1) 受け入れ目標 20,580名(達成率 95.6%) 70名までの入所
 ・入所園児数(3月末日) 69名(定員 60名)
 年間受入延べ人数 19,666名

(2) 在籍実績

・利用園児人数調べ

	年 齢 別 人 員												合 計
	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5歳児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	1	0	5	4	7	3	6	5	4	8	7	5	55
本年度中入所園児	4	6	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	16
本年度中途退園・卒園児	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	7	5	16
3月31日在籍数	4	6	5	6	7	4	6	5	4	8	0	0	55
入園児総人数(H24年～)	男:93名 女:86名 合計 179名 (卒園児総数:94名・3月31日退園児 12名)												

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	66	66	66	67	66	66	67	67	67	68	69	69	805
入所	11	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	16
退所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	14	16

・利用園児(一時保育)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	0	1	2	1	2	2	3	3	2	2	3	3	24
延べ人数	0	1	3	2	11	9	18	24	22	21	21	19	151

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00~19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	17	8	15	20	23	19	22	16	19	15	17	18	209
延べ人数	62	33	88	95	78	97	94	83	81	57	80	60	908

短時間 7:00~8:00 /16:00~18:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	2	2	1	1	1	2	2	1	1	2	1	2	18
延べ人数	23	5	35	3	6	47	49	34	42	38	33	41	356

(3)日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才~5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ

16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週木曜日・火災・地震・不審者侵入3つを訓練時間や職員人数、避難場所(園内、園庭、駐車場)等変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月1日(水)10:00～	全園児	第9回入園進級式
5月1日(金)10:00～	全園児	子どもの日のつどい
5月1日(金)11:00～	2才以上	畑作り(予定変更有)
5月18日(月)～27日(水)	保護者(夕方)	クラス懇談会(6日間) 中止
6月5日(金)10:00～	全園児	春の交通安全教室 中止
6月30日(月)10:00～	全園児	プール開き
7月7日～10日	1才児保護者	クラス個別懇談 (6/15～17 変更))
7月11日(土)9:30～	全園児	保育参観 中止
7月13日～30日(月～金)	たてわり(3～5才児)	個別懇談(4日間ずつ)
8月4日(火)～6日(金)	0才児保護者	クラス個別懇談(6/18～23 変更)
8月7日(水)10:00～	全園児	七夕会
8月18日(火)～21日(金)	2才児保護者	クラス個別懇談(6/24～29 変更)
8月19日(水)10:00～	全園児	不審者講習(厚別警察)
9月12日(土)9:30～	全園児	第9回運動会
9月18日(火)9:30～	2才児	みかん遠足(法人バス利用)雨天園内
9月25日(金)9:30～	3, 4, 5才児	たてわり遠足
10月6日(火)9:45～	全園児	歯科検診 (6/3より変更)
10月16日(水)9:20～	3, 4, 5才児	バス遠足(円山動物園)(6/26 変更)
10月23日(金)10:00～	2才以上児	カレークッキング
11月28日(土)9:30～	全園児	第9回生活発表会(zoom配信等制限)
12月1日(金)10:00～	全園児	冬の交通安全教室 中止
12月25日(金)10:00～	全園児	クリスマス会

12月28日(月)10:00～	全園児	まゆ玉飾り
12月29日(日)～1月3日		年末年始の休園
1月4日(月)	全園児	お正月の会
1月6日(金)10:00～	全園児	もちつき会
1月22日(金)	5才児保護者	年長にじ組懇談会
2月3日(水)	全園児	豆まき会
2月18日(木)	全園児	スノーフェスティバル
2月15日(月)～25日(木)	保護者(夕方)	各クラス期末懇談会(内6日間)
2月27日(土)	新入園児	新入児オリエンテーション
3月3日(水)	全園児	ひな祭り会
3月13日(土)	年長児3,4才児	第9回卒園式
3月25日(木)	年長児3,4才児	お別れ会
3月27日(土)	全園児	新年度準備
3月29日(月)～31日(水)	全園児	新年度クラス慣らし保育期間
3月30日(火)	年長児	月寒あんぱん和菓子作り体験

(5) ブロック目標(クラス反省)

*0才児クラス(さくらんぼ組)

- 一人ひとりを大切にしたい安心安全な環境作りと成長発達に寄り添った保育を大切にする。
- ⇒一人ひとりの情緒面を大切に、成長や発達に寄り添った関わり、個々の発達に合わせた保育活動の工夫ができた。半面、保護者との話し合いの時間が上手く作れなかった。
- ・保育士がマスク着用のため、なかなか表情等を伝えるなど情緒面での安心感を持って行くことが難しかった。マウスシールドの積極的な使用など工夫が必要だった。

*1才児クラス(いちご組)

- 一人ひとりの自我の芽生えを受容し、意欲を持って豊かな成長発達に繋がる暖かい保育を大切にする
- ⇒年齢的な発達が見られる中、一人ひとりの対応に戸惑いがあり気持ちの受け止めや誘導が上手くいかず保護者との共有も上手くできた時と課題が残るなどあった。
- ・感染対策として、他クラスとの交流が少なかったため課題が残った。
- ・感染予防の観点から、おむつ交換の場所の変更など衛生管理を考えて実践できた。

*2才児クラス(みかん組)

- 安心できる環境作りを目指し、自ら行おうとする意欲が持てる丁寧な保育を大切にする。
- ⇒成長幅の個人差があるため、生活習慣の身に着け方を、実際に見せながら遊びの中で知らせることで楽しんで進めることができた。

・できたことをたくさん褒めることでやる気に繋がり、みんなの前で発表する機会など設けることでさらに自信に繋げることができた。

* 3・4・5才児クラス(りんご・ぶどう・めろん組)

○ 異年齢の友だちとのかかわりの中でさまざまな経験を通し、自分や仲間と考え合い行動する意欲が持てる一人ひとりを大切にしたい保育を丁寧に行う。

⇒ 1対1の読み聞かせの時間を作ることに重点を置いたことで、ゆったりとしたコミュニケーションを図ることができた。

・新型コロナウイルス感染防止の観点から、できなかった保育内容があった。

・地域の方が優しい言葉かけなど、子ども達を見守ってくださることを実感した。次年度には、地域との交流が深まる内容を考慮していく。

・それぞれの年齢の時期の発達や特性をしっかりと把握することが足りず適切な保育が行えなかったため、研修や事例について検討会議をするなど課題が残った。

・3才児 友達や保育士とのかかわりの中で、助けられながらも自分から行動することの喜びを感じ合う保育を大切にする。

⇒ やりたい意欲を上手く受け止め進めていくことが難しかったが、出来た喜びや褒められた等の成功体験を通して自信につなげることができた。

・4才児 友だちとのつながりを深め、思いやり等の心育ちを豊かになる活動を一緒に楽しみに繋がる保育を大切にする。

⇒ 子どもの育ちを認めながら、友達の思いに気づけるように進めたが、勘違いや受け止め方が違うことが多く、言葉と心の成長をバランスよく導いていくことが難しかった。

・5歳児 就学に向けて自信を持って生活や遊びに取り組み、友達などの気持ちを考え行動する心育ちを深め、自己発揮できる保育を大切にする。

⇒ 子どもの気持ちに寄り添い、認める、褒めるなど丁寧なかかわりの中で就学に向けての取組みを持つことができなかったなか、3クラスで連携し同じ目線でかかわりを持つことが必要と感じた。

* 保育園全体

○ まごころ保育園らしさを大切に、今年度は開園10年目の節目になり、保育の原点を振り返り、暖かで、生き活きと楽しい保育園生活を過ごせるよう、環境作り、衛生管理・危機管理等をさらに見直し、職員、保護者様との連携を大切に安心安全な保育を工夫していきます。

⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、活動の自粛や保育環境を整えることは難しかったが、安全安心な保育の見直しのきっかけとなった。衛生管理等は方法等を確認することができさらに感染症の情報を知り得ることが出来た。

・保護者参加など伴う大きな行事は、例年と違う雰囲気戸惑いや2才未満児の不参加など不完全燃焼感が残ったものの、取り組みや参加方法をみんなで何度も考え合い

工夫することが出来た。

・保育士のマスク使用は、子ども達の情緒、情操面などの影響は大きかったが、感染衛生面からの重要性と保育面からの視点との課題があった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(4) 15	1	(3) 0	1	(2) 0	(2) 0	(7) 19

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2020.4.1～	保育士	1名	2020.6.30	保育士	1名
2020.4.1～	栄養士	1名	2020.9.30	調理員	1名

(3)研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
4/30	基本の「き」遊びの基本おもちゃの役割(第1回)(オンライン)	札幌市	保/主7名
6/25	基本の「き」積み木遊びの楽しみ方(第2回)(オンライン)	札幌市	保/主6名
8/27	基本の「き」願いを持ったごっこ遊び(第3回)(オンライン)	札幌市	保/主5名
8/28	乳幼児のための食育研修	札幌市	保1名
9/ 8	人材採用・人材定着 合掌苑の成功事例(オンライン)	札幌市	園/保3名
9/10	令和2年度保育所における自己評価ガイドライン(オンライン)	札幌市	園/主2名
9/14・17	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(オンライン)	札幌市	保1名
9/19・23	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(オンライン)	札幌市	保1名
9/29・30	障がい児保育担当保育士等研修	札幌市	保1名
10/ 1	乳幼児の身体への見方・接し方(オンライン)	札幌市	保3名
10/8・9	乳幼児保育担当保育士等研修	札幌市	保1名
10/10	広報研修会(オンライン)	札幌市	事1名

10/12	札幌市障がい児保育研修	札幌市	保1名
10/16	第44回札幌市私保連保育研究大会基調講演	札幌市	保/主4名
10/19	厚別区会研修会「中堅職員の接遇マナー」	札幌市	保2名
10/22	新任保育士等研修	札幌市	保1名
10/22	基本の「き」アナログゲームが育てる力(オンライン)	札幌市	保/主6名
10/24	保育園経営について(オンライン)	札幌市	園/事2名
10/26	厚別区会研修 乳幼児の虐待における保護者支援研修	札幌市	園/主2名
11/ 6	発達援助研修(オンライン)	札幌市	保3名
11/19	親子の愛着と保護者支援を考える(オンライン)	札幌市	保2名
11/28	保育士のための保護者支援(オンライン)	札幌市	保2名
12/17	同一労働同一賃金について	札幌市	園/事2名
12/21	就学前の発達と絵本	札幌市	保3名
1/8・12	キャリアアップ研修幼児保育(オンライン)	札幌市	保1名
1/12	私の今、保育の今、子どもの今～コロナ禍を見つめる講座(オンライン)	札幌市	園1名
1/16・18	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策(オンライン)	札幌市	保1名
1/19・20	キャリアアップ研修 幼児保育(オンライン)	札幌市	保1名
1/ 26	パワーポイント研修(入門編)(オンライン)	札幌市	保1名
1/ 30	パワーポイント研修(入門編)(オンライン)	札幌市	保1名
2/ 8	社会福祉法人会計実務者決算講座	札幌市	事1名
2/ 9	現場と作る子ども主体の保育(オンライン)	札幌市	保1名
2/ 9	保育所における自己評価ガイドライン	札幌市	園1名
2/12	私の今、保育の今、子どもの今、～コロナを見つめる視座～	札幌市	園/主2名
2/13	個の育ちから集団へ(オンライン)	札幌市	保1名
2/18	個の育ちから集団へ	札幌市	保1名

(ア) 勤務時間

・シフト時間は、特に問題もなく連携できた。しかし、障がいや個別対応が必要な場面や早朝から夕方遅くまで2歳未満児の長時間保育児が多いなど保育士の人数配置と勤務シフトのバランスがひと工夫必要だった。

(イ) 諸会議

・各会議等の打ち合わせはほぼ計画通り実施出来た。しかし、個別ケース会議などの打ち合わせを確保する時間がなかなか思うようにならず、全職員揃っての会議もなかなか難しいため、内容共有の工夫が必要だった。

【幌西ほうおん概要】

— 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行いました。
- 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行いました。

2. 利用者支援

(1)受入目標 7,392名(達成率:63.6%)

生活介護定員 15名(契約数 22名) ⇒年間延べ利用者数:3,622名

就労継続B型定員10名(契約数 6名) ⇒年間延べ利用者数:1,080名

合計 4,702名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2019年度から本年度への繰り越し人数	23名
本年度中の入所者数	7名
本年度の利用者総数	30名
本年度中の退所者数	2名
差し引き本年度から2021年度への繰り越し人数	28名
平成29年4月1日開所以来の利用者数	37名

②月別人数調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	28	28	28	28	27	27	27	29	29	29	29	28	337
延べ人数	421	436	440	461	400	421	430	302	141	403	388	459	4,702
開所日数	26	26	26	27	26	26	27	18	9	24	24	27	286
月平均	16.2	16.8	16.9	17.1	15.4	16.2	15.9	16.8	15.7	16.8	16.2	17.0	16.4
入所	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	7
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	2	0	2
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	2	0	2

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	5	2	7
その他	0	0	0
計	5	2	7

⑤在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	99
障害支援区分5	9	9	9	9	9	9	9	11	11	11	11	11	118
障害支援区分4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	28	28	28	28	27	27	27	29	29	29	29	28	337

(3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:00	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

①生活介護の活動内容の充実を図る

⇒利用者様の好みや得手不得手を考慮した活動を提供することができた。音楽が好きな方が多く、体を動かすニーズも高いため、新たに音楽リトミックを取り入れた。また、支援の際に意思確認、意志表出の場面を多く持てるように心がけ、個々の特性に合った提示方法や表出方法を意識して支援することが出来た。今年度は感染症の影響により全ての行事が規模縮小となったが、少しでも利用者様が楽しめるよう創意工夫した。

②B型の収益を上げる

⇒コロナウィルスの影響によりカフェを営業することが出来ず、B型の収益が大幅に減少した。カフェの売り上げが収益の大半を占めているため、今後は受注作業の種類や量を増やし、今年度達成できなかった工賃増額を目指していく。

③短期入所の稼働率を上げる

⇒開所回数は毎月男性1回、女性1回の計2回に増やすことができ、中経の目標は達成した。今後さらに稼働率を上げるための体制づくりや、外部からの受け入れに向けた準備を進めていく。

④施設内の環境整備に努める。

⇒菜園活動の整備や理解が進む中で利用者様の活躍する場面を増やすことが出来た。芝生は管理が難しく雑草が増えてしまったため、ほうおん園の管理は更に工夫が必

要と感じる。館内については常に美化を意識し清潔を保持出来た。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

⇒コロナウィルスの影響で町内会や地域との関りを持つことができなかったが、ほうおん園が近隣の保育園や児童館の子どもたちの良い遊び場所になっていた。外出自粛の社会情勢の中、近所の方々の憩いの場として利用して頂けた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5			※お花見会中止		
6			※運動会中止		
8	7	金	七夕まつり	2階ホール	19名
9	22	火	ミニまつり(報恩まつり代替)	全館	20名
10	29	木	お散歩スタンプラリー(ハイキング代替)	近隣公園	18名
11	20	金	お楽しみ会(秋の食事外出代替)	全館	20名
12			※クリスマス会中止		
1	27	水	新年会	食堂、2階ホール	21名
2	3	水	節分	全館	20名
2	24	水	冬の会(外出行事代替)	ほうおん園	23名
3	30	火	お疲れ様会	食堂、2階ホール	21名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	事務員	調理員	看護師	協力医	合計
1	(1)	(1) 5	1	1	1	(2)	(1)	(1)	(6) 9

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

報恩学園からの異動			退任		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2020.4.1	生活支援員	2名	2021.3.31	生活支援員	1名
グリーンホーム厚別からの異動					
発令年月日	職名	人数			
2020.4.1	生活支援員	1名			
グリーンホーム厚別からの異動					
発令年月日	職名	人数			
2020.4.1	事務員	1名			

(3) 職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
2020.6.18	施設経営に活かすための決算書の見方	オンライン	2名
2020.7.10	社会福祉法人決算分析	オンライン	2名
2020.10.27	職員の確保・定着・育成に向けた魅力ある職場づくり	オンライン	2名
2020.11.7	4法人研修	オンライン	1名
2021.1.14-15	社会福祉法人会計 予算・決算セミナー	オンライン	2名
2021.1.26	権利擁護セミナー	オンライン	1名
2021.2.4	全道施設長研修会の参加について	オンライン	1名
2021.2.12	サビ管更新研修	オンライン	1名
2021.3.11	サビ管更新研修	オンライン	1名

(4) 勤務時間

- 勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。
- 送迎時間については、冬時間対応が必要となった。

(5) 諸会議

- 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。
- 外部委託業者が入る給食会議は感染症予防対策のため給食会議のみ電話連絡で対応した。